

情報公開文書

◆ 「大腿骨転移性骨腫瘍の手術成績」

1. 研究の対象となる方

2007年1月1日以降2020年9月30日までに当院にて「大腿骨転移性骨腫瘍」と診断され手術を受けた患者さんが本研究の対象となります。

2. 研究目的・研究の方法

大腿骨転移性骨腫瘍は主に進行期のがん患者においてみられる状態であり、疼痛もしくは骨折により日常生活の障害となることがあります。その疼痛を改善し生活の質を維持する目的で手術治療を選択することも多いですが、手術方法はいくつかあり、どの手術方法を選択するかについて明確な基準までは定められていません。当院では月平均1～2例の転移性骨腫瘍に対する手術を積極的に行っており、千葉県内では最も多くこの手術を手掛けている施設のひとつになります。

本研究の目的は、大腿骨転移性骨腫瘍に対する手術の治療成績を検討し、今後手術を受ける患者さんの選択に関する指標を作成することです。手術前後の症状変化などから治療の効果について情報を収集し解析を行うことです。得られた解析データは学会発表あるいは学術雑誌への投稿を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、生年月、原発の種類、転移レベル、手術日、手術方法、治療歴

手術前後理学所見・検査所見・画像所見、最終観察日・転帰

等に関する診療情報を当院にて収集し解析しますが、個人を特定しうる情報は排除いたします。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター整形外科 鴨田 博人

5. 研究責任者

千葉県がんセンター整形外科 鴨田 博人

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、当センター受託研究費から各診療科へ配分された整形外科研究費を用いて行います。各研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。

利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当院の倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 整形外科 鴨田 博人

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)